

健康

緩和ケア

質問

がん治療中の60代女性です。最近、体に時々痛みを感じるようになってきました。医師に相談したところ、緩和ケアを勧められました。治らないから痛みを緩和する治療に切り替えるということでしょうか。麻薬のイメージがあり、抵抗を感じています。



生田 賢治 徳島大学病院 麻薬室長

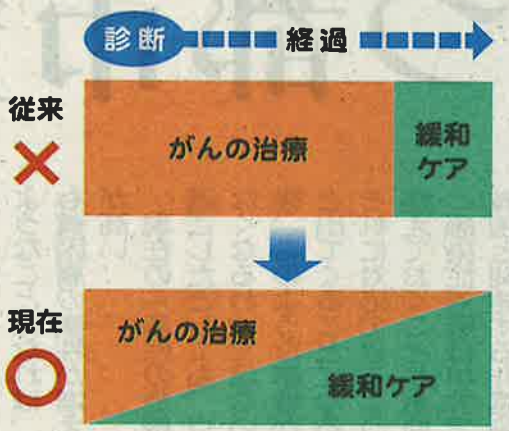
回答

緩和ケアとは、重い病気を抱える患者やその家族の体や心などの苦痛を和らげ、自分らしい人生を送ることができるよう支えていくことです。がん患者や家族は、がんが診断された時、治療中、再発や転移が分かった時などは、つらさやストレスを感じます。そこで緩和ケアは患者と家族がより良く過ごせるように、いろいろな場面で幅広い対応をします。必ずしも治らないから痛みを緩和する治療に切り替えるわけではありません。以前、緩和ケアはもう他に治療ができなくなったので痛みを取るためだけに行うものと思われていました。しかし最近では、終末期だけでなく、がんの初期から、痛みやさまざまな症状を和らげる緩和医療を行うことが

診断時から治療と併行



重要とされています。2018年に国が策定した第3期がん対策推進基本計画にもこの考えが盛り込まれました。そして現在がんの診断時から治療と同時に緩和ケアを受けられるよう、医療関係者は努力しています。鎮痛薬を適切に使うことができません。とでがんに伴う痛みのほとんどが軽減できます。痛みの治療はWHO(世界保健機関)方式のがんが経験します。



薬の適切使用で痛み軽減

便秘に對し、下剤(腸の運動を促進する薬、便を軟らかくする薬など)を使用します。また、水分や食物繊維を十分に取る、できる範囲で体を動かすといった対処方法があります。吐き気は必ず出るわけではありません。薬に体が慣れてくると1、2週間自然に症状がなくなるかもしれません。吐き気止めの薬は、消化管運動改善薬など多くの種類があります。眠気は、しばらく薬を使い続けるとなくなる場合がほとんどです。しかし、眠気が気になる場合は遠慮せず医療スタッフに相談してください。緩和ケアによって苦痛を和らげるためには、我慢せず痛みやつらさを周囲に伝えることが大切。そうすることで周囲の人々は、患者と一緒に和らげる方法を考えることができます。緩和ケアを受けたい、知りたいと思つた時は、まず担当医や看護師に相談してください。(第4土曜掲載)

がんに関する質問は 徳島がん対策センター <電088(634)6442> (平日午前8時半から午後5時) へ。 Includes a QR code.